

.....
おくちの
相談室
.....

【問】歯がないところに歯を入れる治療の説明で、インプラントの話が聞きました。インプラントとはどのような治療なのでしょう。一度インプラントを入れたら一生もつのでしょうか。（長崎市、63歳男性）

【答】**【答え】**口腔インプラントは、チタン製のネジ（インプラント体）を顎の骨に埋め込み、その上にかぶせものや入れ歯を装着することで歯が失われた部分を補う治療です。

実は、顎の骨に何かを埋め込んで歯を補おうとする口腔インプラント治療は古代より行われてきました。マヤ文明時代にヒトの顎の骨に貝殻が埋め込まれている遺体が発見されており、これが世界最古の成功した口腔インプラントとされています。

現代のようなチタン製口腔インプラントが使用されるようになったのは、1952年スウェーデンの整形外科医ブローネマ

道ノ尾病院歯科医師

（長崎市虹が丘町）

回答者
いしぎ石 ともひろ 智大



インプラントは一生もつ？

適切管理で長期間使用

ルクが、ウサギの骨とチタン製の器具が結合することに気がつき、65年に初めてヒトにチタン製口腔インプラントを埋め込んだことが始まりです。

さて、口腔インプラントがどれくらいもつのかということですが、埋め込まれた口腔インプラントが正しく機能しているかなど細かい条件を考えなければ、10〜15年の残存率は上の顎で約90％程度、下の顎で約94％程度といわれています（厚生労働省の「歯科インプラント治療のためのQ&A」より）。必ずしも一生もつとは言えないということになります。しかし、適切な治療を受けた後も、自分の歯と同様に適切な管理を受けている口腔インプラントは長期間使用することが可能であることも事実です。

また、失った歯を補う治療には口腔インプラント以外の方法もあります。それぞれに利点、欠点があり、費用や治療期間も異なります。さらに口腔内の状況、年齢、全身の健康状態など、治療法を選択する上で考えるべき要素は数多くあります。口腔インプラントによる治療をするか否かは、受診している歯科医院でよく相談してみてください。

質問をどうぞ

歯と口の健康に関する質問を受け付けます。県歯科医師会の先生方が回答します（直接本人に回答はしません）。症状などを分かりやすくまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒852-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「お口の相談室」係に送ってください。県歯科医師会のホームページは「8020ながさき」で検索できますので参考にしてください。